

はるかぜ

やまゆり荘

第73号
平成30年11月20日
社会福祉法人
春風会

〒377-0433 群馬県吾妻郡中之条町折田 2515 TEL.0279 - 75 - 6517

やまゆり荘納涼祭



第19回を数える毎年恒例の「やまゆり荘納涼祭」を8月26日（日）に開催しました。今年は今までにない猛暑で全国各地の様々な行事が中止になる中、暑さのピークになる前の午前10時半から行いました。今年もご利用者様、ご家族様、ご来賓、ボランティアの皆様、アトラクション主演者、職員を含めると585名の参加人数となりました。

お盆は過ぎていましたが、当日は暑いくらいの天候に恵まれ、屋外での開催ができました。中之条中学校吹奏楽部の皆様、ゼロ戦キッズの皆様、フラピカケの皆様による素晴らしい演奏、ダンスで祭りを盛り上げて頂きました。毎年出演して頂き感謝申し上げます。

そして、ボランティア団体の皆様、春和会の皆様、ライオンズクラブの皆様やまゆり荘役員の皆様には模擬店を盛り上げて頂きました。お陰様で納涼祭終了前に全部完売となりました。毎年ご協力頂き感謝申し上げます。

午前中の開催となり、準備不足、不手際等あったと思います。その点も含めて、見直す所は改善し、良い所は継続し、新しいアイデアを取り入れ、また、来年の納涼祭へと繋げたいと思います。

今年も無事に納涼祭が開催できましたことに感謝申し上げます。参加して頂いた皆様のご協力なくして成功はありません。やまゆり荘をご利用して下さる皆様の笑顔のために、これからも職員一同頑張りたいと思います。皆様、ありがとうございました。

特養 生活相談員 加部 愛

のぞみグループ

爽やかな秋風と暖かい日差しに、思わず「良い日ですね」と声を掛け合わずにはいられない、そんな10月16日のお昼前…炭をおこすところから始まります。



入居者様の情報網はとても速いようで「今日のお昼はサンマなんだって!」「外で焼くんだろ?楽しみにしているよ～」とあちこちから聞こえてきました。これは責任重大!しっかり美味しいサンマをお届けしなければと、決意し現場へ向かうと既に煙がモクモク。

新鮮なサンマも届き、いざ網の上へ!!

ジュウジュウと脂を滴らせながら、何とも美味しそうな焼き加減になると…どうにもお腹が減ってきます。きっと入居者様たちも喜んでくれることでしょうと、職員一同が一致団結して焼く係と

旬の味を食す ~サンマ編~

食べやすく骨を取る係に分かれ、作業は続きます。

時々、グループのホールへ戻ると「どうだい?焼けてる?」「あら、ずいぶん煙を浴びたのね~!」「ホントだ!こんなに遠くからでも匂いがわかるよ」さすが敏感な女性陣!そうなんです、どうしても煙に巻かれるので全身に匂いがついてしまい…職員も気分は焼き魚です。そうして焼けた美味しいサンマは皆様のお膳の上へ。やはり旬の食材!いつもよりたくさん食べられますね。美味しそうに頬張る入居者様たちの表情に、ホッと一息。

毎日の生活がさらに楽しくなるように、これからも季節を取り入れたケアを閃き、実現し、一杯お届けしたいと思います。

のぞみグループ 田中 麻理恵

めぐみグループ



敬老会

9月12日にめぐみグループの敬老会が行われました。施設長の挨拶から始まり、童謡2曲を入居者の皆様と職員と一緒に大きな声を出して唄う事ができました。皆様の顔が生き生きとしているように思えました。

昼食には、にぎり寿司、いくらとネギトロ丼、のり巻きなどバラエティーに富んだ物を召し上がって頂き、普段はなかなか食べることができないためか、どの方も全量召し上がり「おいしかった」とお話をして下さいました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

めぐみグループ 富沢 初恵

なごみグループ

アイス バイキング

8月30日おやつの時間にアイスバイキングを実施しました。

ご利用者様にそれぞれバニラ、イチゴ等の好きな味を選んで頂き、ソース、ホイップなどをお好みでかけて召し上がって頂きました。連日暑い日が続いていた為、皆様「おいしい」「おかわり」とまた違う味を楽しんだりと喜ばれておりました。アイスを食べながらご利用者様同士や職員とも会話が弾み、コミュニケーションを取ったり、涼を感じて頂いた良い機会となりました。



なごみグループ 和南城 菜摘子

デイサービス やまゆり



9月18日と20日に吾妻カラオケクラブ様、19日にフラダンスのフラピカケ様と歌手の関かほる様をお招きして行いました。毎年お世話になっており、今年もご利用様が心待ちにされました。カラオケでは、歌に合わせて手拍子をされたり、歌を口ずさみながら昔を懐かしむ姿が見られました。ご利用者様も数名参加され、ご自慢ののどを披露しました。大きな声で熱唱され、拍手喝采でした。フラダンスと歌謡ショーでは、華

敬老会



やかな衣装と優雅なダンス、素晴らしい歌声に「いいね。」「綺麗だね。」と目を輝かせて観ておりました。

3日間を通して皆様のたくさんの笑顔を見る事ができました。日頃の感謝の気持ちが少しでも届いて頂ければ幸いです。

来年もまた皆様と楽しい会ができますよう、これからもご利用様が楽しく参加できる行事を心がけたいです。最後になりましたが、ご協力して頂きました吾妻カラオケクラブ様、フラピカケ様、関様、素敵なひと時をありがとうございました。
 デイサービス 看護師 石坂 有実子

ケアハウス



ケアハウスでは9月16日に慶朗会を行いました。毎年ですとボランティアの方に来ていただいてカラオケ等を披露して頂き、皆で見る慶朗会でしたが、今年は「歌いたい!」「歌える!」と自分達で楽しみたい方が多くなったので、カラオケ大会を開催しました。

「この歌知ってる〜」っと曲選びをしていた方も自分の番になるとドキドキ…なかなか始めは声

慶朗会



の出ない所もありましたが、歌い終わりの頃になると満足気な表情に！歌はもちろんご利用者の十八番を選びかけるので、聞いている方も「知ってる、知ってる!」っとその当時流行した曲に楽しく耳を傾けていました。

お昼ごはんには桶のお寿司が届き、とても良い笑顔で皆様食べていました。又、今年は4人の方に慶祝状をお渡しお祝いしました。それぞれ、とても良い笑顔で受け取って下さいました。

また来年も楽しくお祝い出来るよう皆様長生きをして下さい。

ケアハウス 蟻川 小百合

コスモス散歩



セミの声もいつの間にか聞こえなくなり、空を見上げればうろこ雲。保育所のすぐ近くでもコスモスが満開になり、だんだんと秋を感じられるようになりました。お散歩が楽しい季節になり、散歩に出かけることを子ども達に話すとみんなワクワクした表情に。早く靴を履いて外へ。どんぐり、紅葉、落ち葉、子ども達にとって外はとっても魅力的な場所です。どんぐりを両手いっぱい。落ち葉は穴を空ければお面へと。季節の移り変わりを五感で感じて欲しいと思います。

これからまた、お散歩、焼き芋大会、りんご狩りが楽しみです。

はるかぜ保育所 小池 善洋



猛暑の夏から秋らしい季節も無く、感染症の季節がやって来ます。他の施設や病院と連携し、吾妻郡内の講習会で学んだ事を実践します。基本に立ち返り食事前の手の消毒・口腔ケアを徹底したいと考えています。

皆様のご協力があるっての感染対策です、その節はよろしくお願い申し上げます。

看護師 閑野 久美子

ファミリーデー



11月11日に仕事と子育ての両立支援の一環として初めての「ファミリーデー」を開催しました。ファミリーデーとは、職員の家族に職場訪問をしてもらうことで職員を支えている家族に自分のやっている仕事や職場を理解してもらうこと。また同僚との交流を通じて、それぞれの職員にも大切な家庭があるということ職場全体で考え「働きやすい・家族を大切にす職場の雰囲気づくり」を目的として実施するものです。今回は7

家族30名の参加となりました。

まず理事長より施設建設に至った思いや背景についての話があり、その後施設見学や概要説明を行いました。最後に懇親会としてバーベキュー大会で楽しい時間を過ごしました。今後も継続して開催していきますので、家族の働く現場へ是非来てみて下さい。

総務リーダー 塚田 知子

地域公益活動推進室「防災の日」(防災月間行事)

防災月間の9月15日に「防災の日」として非常食の炊き出し体験とガス式発電機の動作確認、発電機による電化製品の稼働実験を行いました。

炊き出しでは、ボランティアグループの「ひまわりグループ」の皆様にご参加いただき、ごはん、みそ汁、カレー、さんま、羊羹といった非常食を炊き出して、同時に試食も行いました。アルファ米と言われる、定量のお湯や水を入れるだけでご飯が炊けるお米は、「作り方を覚えないと非常時に焦ってしまうね。」との声が聞こえて来ましたが、とてもおいしく炊きあがりました。温めなくてもおいしいカレーはとても好評で、非常時にも「嬉しい時間」を提供してくれそうです。

ガス式発電機による電化製品の動作確認では、発電した電気IHクッキングヒーターや電動ベッドの可動実験を行ったりしました。同じガスを使用するものでも、それぞれに得手不得手があるので、お湯を沸かすには、IHクッキングヒーターより、直火のカセットコンロのガスの方が早いこともわかりました。

防災の日の行事を行うことで、事前準備が欠けていることや知る事の大切さなど、様々な「気付き」がありました。今回の気付きを放置するの

ではなく、ひとつひとつでも改善して、「いざ」という時に備えたいと思いました。

人の想像を超えた自然災害が各地で起こっています。群馬県は比較的に災害が少ないようにも感じますが、起こった際には、更に大きな被害となってしまう可能性が高いのかもしれない。公助だけでなく、自助や共助の力を高め、地域の防災力を高めていきたいものです。

地域公益活動推進室 室長 下前 剛次



編集後記

朝晩涼しくなり、すっかり秋らしくなりました。秋は実りの秋ともいうように食べ物が美味しい時期になります。利用者の方々には旬の食べ物を美味しく頂けるようにメニューを考えていきたいと思っています。これから段々冬に向かっていくので、厳しい冬を乗り越える為にも秋の間にしっかりと栄養を蓄えて冬に備えましょう。また、季節の変わり目目で体調崩しやすいので、体調管理には気をつけたいと思います。

食事係 栄養士 萩原 正光